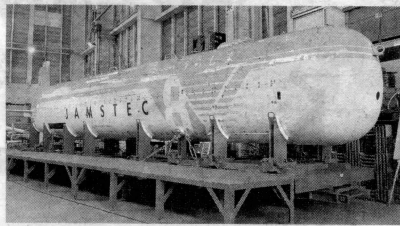


無人深海巡航探查機 公開

海洋研究開発機構 最深8000mまで潜水

海洋研究開発機構（神奈川県横須賀市）は、無人深海巡航探查機「うらしま8000」を公開した。水深3500



海洋研究開発機構が公開した無人深海巡航探查機「うらしま8000」＝神奈川県横須賀市

0mまで潜航できる従来の「うらしま」を、現存する国内の深海探查機で最も深い8000mまで潜れるよう改良した。日本海溝などの海底の地形を詳しく調べることで、巨大地震の発生メカニズムの解明などにつながることを期待される。

「うらしま」は1998年から開発が進められている自律型の探查機。内蔵のコンピュータに入力した航路に従い、自ら障害物を避けて無人

で航行できる。これまでも海底の地滑りや火山などの調査で使用されてきた。

「うらしま8000」は全長10・7m、重さ7t。搭載する機器が水深8000mの水圧に耐えられるよう設計を見直し、速く潜れるよう機体のプロペラを改造した。

海洋機構によると、これまでの試験潜航で水深約6600mまで潜れることを確認。7月に房総半島沖の日本海溝で8000mまで潜航する予定で、11月には東日本大震災の震源となった海域の調査も実施する。2026年度に本格的な運用が始まる見通し。